

しいば議会だより

第117号

令和7年1月

発行
編集

宮崎県椎葉村議会

議会だより編集委員会

〒883-1601

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字

下福良1762番地1

TEL (0982) 67-8209

村内無料電話 7-67-0091



令和7年椎葉村消防出初式 優勝の第11部（尾前地区）

- ・12月定例会 …(2～4)
- ・一般質問 ……(4～7)
- ・議員定数に関する調査特別委員会報告 …(8～9)
- ・本村代表監査委員 椎葉次男さん 全国表彰 …(9)
- ・議員活動報告 …(9～11)
- ・議会の動き ……(12)

令和6年12月定例会

令和6年12月5日に定例会が開催され、報告2件、同意1件、承認6件、議案15件、
発議1件を可決承認しました。

12月定例会で審議、議決したこと

議案番号	件 名	審議審査結果
報告第 10号	専決処分について(令和5年度社会資本整備総合交付金事業下水流公 営団地新築工事請負変更契約の締結)	報告済
報告第 11号	専決処分について(令和5年度4年災第1390号村道大久保線道路災 害復旧工事請負変更契約の締結)	報告済
同意第 1号	椎葉村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
承認第 16号	令和6年度椎葉村一般会計補正予算(第6号)について	承 認
承認第 17号	令和6年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	承 認
承認第 18号	令和6年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第3号)について	承 認
承認第 19号	令和6年度椎葉村一般会計補正予算(第7号)について	承 認
承認第 20号	令和6年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第3 号)について	承 認
承認第 21号	専決処分について(令和5年度4年災第1299号村道椎葉矢部線道路 災害復旧工事請負変更契約の締結)	承 認
議案第100号	令和6年度椎葉村一般会計補正予算(第8号)について	可 決
議案第101号	令和6年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第102号	令和6年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第103号	令和6年度椎葉村国民健康保険病院特別会計補正予算(第3号)に ついて	可 決
議案第104号	令和6年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第105号	令和6年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第106号	令和6年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第107号	令和6年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第4 号)について	可 決
議案第108号	椎葉村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第109号	椎葉村キャンプ場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 について	可 決
議案第110号	椎葉村ファミリーサポートセンター設置及び管理に関する条例の一部 を改正する条例について	可 決
議案第111号	椎葉村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第112号	椎葉村農産物直売所の設置及び管理に関する条例の制定について	可 決
議案第113号	椎葉村営住宅設置条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第114号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度 4年災 第1302号 村道尾前下線・小原橋橋梁災害復旧工事)	可 決
発議第 1号	議会活性化特別委員会の設置について	可 決

議案の主な内容

同意第1号

椎葉村教育委員会 教育委員に椎葉鉦蔵氏が任命されました。

鉦蔵氏はこれまで区長を歴任され、現在は民生委員児童委員として活動をされております。任期は令和6年12月22日から令和10年12月21日までの4年間です。



承認第16号の主な補正内容

3億5,300万3千円を追加し、予算総額が69億2,966万8千円となりました。

- ① 治山事業測量設計(仲塔地区)・・・300万円追加
- ② 農業施設災害復旧事業・・・1,490万円追加(補正後:1億7,557万円)
- ③ 林道施設災害復旧事業・・・6,422万円追加(補正後:9,669万円)
- ④ 道路施設災害復旧事業・・・2億785万円追加(補正後:8億8,286万円)

承認第17号の主な補正内容

- ① 本郷地区水道設備災害復旧事業・・・4,167万円追加

承認第18号の主な補正内容

- ① 村営発電所災害廃棄物処理及び所内洗浄業務等・・・982万円追加

承認第19号の主な補正内容

776万円9千円を追加し、予算総額が69億3,743万7千円となりました。

- ① 衆議院議員選挙費・・・501万円追加
- ② 椎葉村おが粉供給事業・・・96万円追加
 - ・おが粉購入に対し、1㎡あたり1,500円以内を助成する事業。



議案第100号の主な補正内容

1億4,932万8千円を追加し、予算総額が70億8,676万5千円となりました。

- ① 夢織りの館改修工事・・・2,785万円追加
 - ・トイレの洋式化、照明のLED化、浴室補修、館内外装工事
- ② 林道施設災害復旧事業・・・9,223万円追加(補正後:1億8,892万円)
- ③ 道路施設災害復旧事業・・・6,840万円追加(補正後:9億5,126万円)

発議第1号 議会活性化特別委員会の設置について

1. 名 称 「議会活性化特別委員会」

2. 委員会設置の目的

- ① 議会・議員の本質を理解して、職責を全うする。
- ② 議会運営のあり方及び役割について、総合的かつ効果的な調査・研究を定期的に行い、議会活性化を図る。

3. 委員の定数 10名(全議員)

第4回臨時会

令和6年12月19日に第4回臨時会が開催され、報告1件と議案14件を可決した。

第4回臨時会で審議、議決したこと

議案番号	件 名	審議審査結果
報告第11号	専決処分について(令和6年度椎葉小学校プール改築工事請負変更契約の終結)	報告済
議案第115号	令和6年度椎葉村一般会計補正予算(第9号)について	可 決

第4回臨時会で審議、議決したこと

議案番号	件 名	審議審査結果
議案第116号	令和6年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第117号	令和6年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第118号	令和6年度椎葉村国民健康保険病院特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第119号	令和6年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第120号	令和6年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第121号	令和6年度椎葉村ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第122号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第123号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第124号	椎葉村教育長の給与、勤務時間その他勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第125号	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第126号	椎葉村村営住宅設置条例の一部を改正する条例について	可 決
議案第127号	工事請負契約の締結について(令和6年度 地方創生道整備推進交付金事業 林道馬口岳線開設工事)	可 決
議案第128号	工事請負変更契約の締結について(令和5年度 4年災 第1299号 村道椎葉矢部線 道路災害復旧工事)	可 決

村長に聞く! ~ 一般質問 ~



しいば ともなり

椎葉智成 議員

質
問

住居までの車道等の必要性について

問1

今もなお自宅まで車道が通じていない家屋が多数軒ある。不便さだけでなく、病気や災害時に緊急車両が入れないなど、住民は不安を感じ、早急な整備を切望している。



答1

調査の結果、村内で35世帯、そのうち19世帯が上椎葉地区である。住居までの車道の必要性は十分感じている。村単独の集落道開設事業を推進しているが、上椎葉地区は地理的条件等で集落道としての施工が困難な世帯があり、このような世帯には、手すり等を設置する里道・歩道の整備事業を推進している。

村としても当地区の道路整備の構想を持っているが、検討すべき課題が多く実施段階には至っていない。今後もこの2つの事業を推進したいと考えている。

問2

何とか住居近くまで、車道が開設できないものか願っている。道路の拡張工事と整備を見直してほしい。併せて、駐車場の問題もある、限られた立地条件の為、立体駐車場の建設等も視野に入れて調査を行う必要性があるのではないか。

答2 現在、台風災害復旧の為、こういった構想は中断しているが、今後、旧児童館周辺を含めた再開発等の構想も考えている。集落道、立体駐車場等、総合的に想像を巡らし、少しでも構想に近づけるよう政策を打っていききたい。

問3 人口の維持を計る上でも、その地区に沿った事業の補助、集落道開設事業を今後も推進し、地域住民の負託に応えていただきたい。

答3 人口減少が進んでいく中で、1人でも多くの住民が住み続けていけるよう、そういう村を目指して今後も取り組んでいきたい。



なす しげみ

那須重美 議員

質問 学校給食の無償化について

問1 学校給食を無償化した場合の年間の村負担費用を伺う。

答1 月々の保護者負担は、小学生3,000円、中学生3,500円。無償化した場合の村負担は、年間約1,100万円となる。



問2 給食の献立や量について、保護者、児童からの意見、要望等はないか伺う。

答2 問い合わせたが 意見・要望は無い。量も多いし、美味しいとの感想。今後、定期的にアンケート等を実施したいと考えている。

問3 賄材料において、村内の地産地消と食材と一般的な普通食材費用の違いを伺う。

答3 八菜館を中心に注文している。直接 農家より仕入れもおこなっている。直接購入することにより、比較的安くで納入している。

問4 県内でも、完全無償化、中学校のみ無償化、第2子以降無償化、半額補助等、子育て支援、少子化対策として取り入れている自治体がある中において、今後の給食無償化の考え方を伺う。

答4 教育委員会の中でも議題に上げ、議論をしている。令和3年度3割補助から、令和6年度5割補助に変更して保護者負担も軽減されている。現状を維持していく。

質問 高齢者見守り対策について

問1 急病や事故などの緊急時に周囲に人がいなく、対応が困難な現状である。一人暮らしの高齢者が自宅で事故や急病により亡くなるという事案も耳にする。高齢者の見守り対策について、取り組みがどのように進んでいるか伺う。

答1 少子高齢化社会を迎えている現状では、期待に答えることは非常に難しい現状となっている。現在、65歳以上の一人暮らし高齢者に対して、緊急通報装置を貸与し対応している。又、本年度新たな見守りシステムを試験的に導入する計画である。



問2 動体感知による見守りライト、スマートフォンを所持している高齢者に対して、対応できる機器の導入支援、又、宅配・配食サービス、移動販売業者による見守り事業、IoT家電家電など、防犯対策としても有効である。システム導入を早急に構築する様、提案し、見解を伺う。

答2 椎葉がどのシステムが良いか、検討しながら構築していきたい。



問1 苗代、肥料代等、費用が高む自家用米のみの作付けを行っている農家への支援は出来ないか伺う。

答1 中山間直接支払制度を活用して交付金を交付している。今後は、集落協定に参加していない農家にも参加していただき、交付金を活用して農地の維持に取り組んで頂きたい。

問2 遊休放棄地が増えている。維持管理が困難な農地への支援は出来ないか伺う。

答2 5年間で耕作地として復旧することを約束して作業を行い、耕作を再開すれば交付金の対象となる。農作業受託制度の充実を図りながら、農家支援と遊休農地対策に取り組んでいく。

問3 令和4年度の一般質問の答弁において、新しい制度の創設について大事なこと、対策について検討していくと答弁している。

今後、遊休放棄地について、維持管理に対して新しい制度の創設をするべきと考えるが見解を。

答3 具体的に何が出来るか ということを検討に加えていく。

問4 今後、スマート農業に取り組むことが重要と考える。

農作業受託に係る農業機械等の整備事業補助金で、導入機器としてドローンも加えるべきと考えるが見解を求める。

答4 高額なドローンの購入補助が適切なものか改めて検証していく。この村に合致した相応しい機器の導入について検討を加える。



かわぐちよしひろ

河口吉弘 議員

問1 大河内地区は、令和4年台風14号、今年の台風10号により国道265号、388号線及び村道大河内～桑の木原線の災害により、迂回路通行を余儀なくされている。復旧の目途もたたない中、地区の皆さんに対する生活支援が必要と思うが。

答1 地区の皆さんには不便をかけている。令和5年に交通困難地域対応として1世帯3万円の臨時給付金を支給。8月台風後、ウェブ会議や集落支援員、役場職員による各種申請の代理申請体制を整え、不便解消に努めている。

問2 国道及び村道の復旧の目途は。

答2 388号屋敷野の復旧は14号による本郷地区の復旧が終わらないと着手できないのでおよそ3年かかると聞いている。

問3 10号台風災害により、これまで以上に迂回路が延伸された。1時間20分もかけて20人が通勤しており、雪の時期を迎えて事故のリスクが高まる。令和5年度に支給した交通困難地域対応給付金より今年の台風10号のほうが厳しい。生活支援が必要と思うが。

答3 県が迂回路の舗装工事を行うので、通勤者の負担が軽減される。給付金は国の制度で実施した。災害は村全体にわたっており、地域限定の支援は厳しい。

問4 台風により平家祭りなどが中止になった。その予算を振り向けるなど地域に寄り添った決断をすべきではないか。

答4 大河内地区に温かい気持ちでということだが、皆さんといろいろな話をさせて頂きたい。



問5 国道災害に伴い大河内地区の競り市出場に対する支援が必要と思うが。

答5 国県に強く要望しながら村内全域の畜産農家に対する総合的な支援を考えていく。



おまえ ひでひさ

尾前秀久 議員

質問

椎葉村産材の活用に向けた今後の方針について

問1 森林組合の撤退を受けて、村として新たな取り組みを模索していくべきと考えるが、森林組合の製材部門からの撤退を受けて、これまでの受け入れ要件との相違があると聞くが見解を。

答1 森林組合に対して選別方法の十分な周知と他の市況と同等の価格を継続できるように申し入れを行う。

問2 この答弁においては、森林組合からの話を聞いての答弁だと思うが村内で頑張っておられる林業業者との協議は。

答2 組合の情報による答弁である。又、林業業者と組合との事柄なので村として立ち入っていない。

問3 村産材利用による補助金(100万)は今後どのように考えているのか。

答3 直近5年間の事業実績が少ないため、木造住宅支援建築支援事業を廃止して移住定住促進住環境整備事業を推進する。

問4 しっかりとした従前のような補助金はなされるのか。

答4 この住環境整備事業の方が幅広く、補助要件を広げているためこちらで進めていく。

問5 製材所がなくなったことで、村内で活躍されている個人の大工さん達が大変な苦勞をすることになると考える。原木をそのまま市場に出すそれで本当に良いとはどうしても思えない。今後に向けた方針は。

答5 森林組合の撤退に伴って、色々な課題があるものとする。森林林業椎葉を守っていく立場で方策を考えていきたい。



質問

世界遺産に認定を受け「焼き畑農業」10周年を迎えるが今後の取り組みについて

問1 好機と捉えヤボ切りから蕎麦を食するまで、一連の作業通して内外より多くの人を呼び込む考えは。

答1 10周年に向けてシンポジウムを、焼畑研究会の拡大版として記念事業を開催したい。一般参加者の受け入れに準備や、対応に労力がかかるため、各団体にご無理のない範囲で実施できる形を模索していく。

問2 シンポジウムで知りえた知識と、実際現場で体験すること、そして多くの人達が訪れることこそ未来に繋がるのでは。

答2 10周年の区切りが将来に渡って大切だと感じる、提案を受けて今後に向かって大きな礎となるよう取り組みたい。

問3 椎葉に来れば焼き畑の蕎麦がどこでも食べられる、そのためには民有林だけでは面積が足りない。村有林を利用することが今後必要である。世界遺産を礎にして椎葉村の発展に向けた取組を。

答3 世界農業遺産を発信そしてアピールしていく、そういった大きなテーマに向かって協議を進めていく。

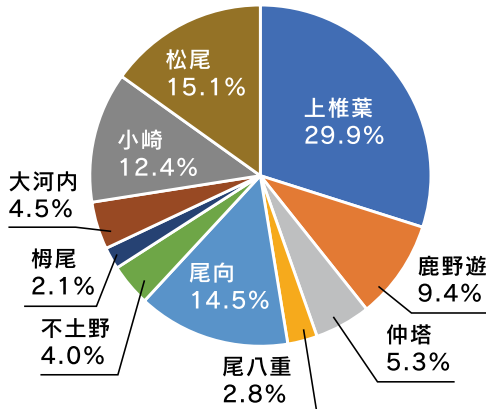


議員定数に関する調査特別委員会報告

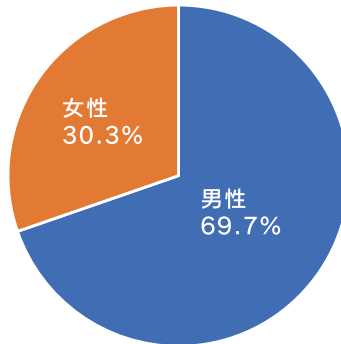
議員定数にかかる調査特別委員会は令和5年6月定例会で設置し、令和6年12月定例会までに7回にわたり協議を重ね、議員定数の在り方について検討を進める上で参考とする為、村民によるアンケート調査、村民意見の収集、地区との意見交換会を実施しました。

アンケート調査については、531件、約、半数の回答をいただき、ご協力 誠に有難うございました。調査結果は次のとおりです。

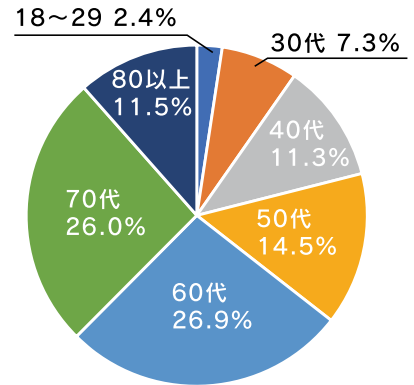
問)あなたのお住まいの地区を教えてください。



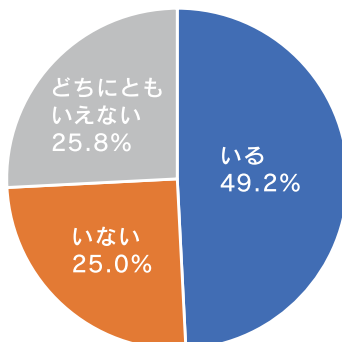
問)あなたの性別を教えてください。



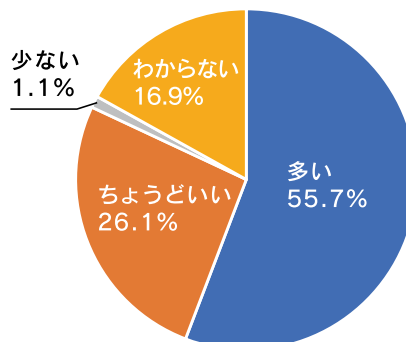
問)あなたの年齢を教えてください。



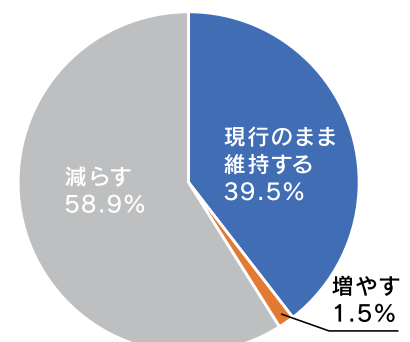
問)村政に対する要望、困りごと等を相談できる議員はいますか。



問)現在の議員定数は10人ですが、この数についてどう思いますか。



問)現在の議員定数についてどの意見に賛同しますか。



村民意見

《賛成意見》

- ア)人口も減少しているし、候補者が少ないようなら定数を減らしてもいいのではないだろうか。前回のようない無投票での当選だと選挙活動～当選後の活動に対して議員も魂が入らないと思う。声を全く聞いたことが無い議員もいるし、定数は思い切って8名とかではどうだろうかと思う。
- イ)本村のことを真剣に考え地域住民の代表として活躍される方々なので定数を減らし、報酬を増やし、議員を志す方が増えるようになればと思います。
- ウ)人口減少による議員定数削減は仕方ないと思う。他の市町村でも削減されている。議員のなり手不足もあるので、公民館長との置き換えなどを検討してもよいのでは。

《反対意見》

- ア)予算を減らす為の定員削減であれば村民の為にならないと思います。議会の活性化や改革、行政と一体となった村政改革が必用と思います。
- イ)これ以上減らすと意見を反映出来ない集落が発生する。議員期は三期まで程度が妥当と思う。
- ウ)議員定数が多い程、物事に対する見方も多くなるので良い見解が得られるのではと思います。減らすのはよくない。

《議会に対する意見》

- ア)仮に減となった場合、経費の削減にはなるかもしれないが村民にとってのリスクは大きいと思う。
議員としての仕事、行政の監視機能が出来なければ意味がない。
範囲が広いので、その地域に似合う定数は必要ではないか。
そろそろ報酬等も議論しないと若い人が参画出来ないのでは？
- イ)立候補者が少なく選挙制度が成り立っていない現状は あまり健全とはいえないと思う。
立候補者を増やす工夫をするか、それが難しければ定数を減らすかどちらかではないでしょうか。

《議会に期待する意見》

- ア)いつも同じ方が意見を出していますが、外の議員さんも見える意見を出していただけるとたくさんの方にも信頼でき、もっと良い村政ができるのではないのでしょうか。期待しています。
- イ)村民に寄り添った議会運営を宜しくお願いします。
- ウ)課題山積でしょうが頑張って下さい。
- エ)定数と言うより本気でやる気がある人に議員をしてほしいです。
- オ)議員である以上は、意見が言える議員であること。
- カ)ただ多いから減らすというよりは、地域の為に尽力できる議員を育てる意味合いで選挙等の競争は一定程度必要だと思いますし、定数削減は必要だと思います。
ただし、減った場合の議員さんの負担増などは考慮する必要があると思いますし、報酬も上げた方が良いと思います。

以上の結果を踏まえ、議員ひとり一人が資質の向上に努め、地域主権の確立の為、議会改革・議会活性化を推進することによって、村民から信頼される議会を目指し、今後の当委員会において令和7年度の議員各位の活動内容等によって 次期の議員定数について最終判断を行うこととしました。

本村代表監査委員 椎葉次男さん 全国表彰 10月22日(火):東京都

10月22日、令和6年度町村監査功労者表彰式が東京都で開催され、本村代表監査委員の椎葉次男さんが全国町村監査功労者表彰を受賞されました。

これは、町村監査委員として7年以上在職し、その功績が顕著な方に贈られるもので、今回は県内から2人が表彰されました。

12月5日には、椎葉村議会議場にて黒木村長からの表彰伝達式が行われました。

椎葉次男さんは、平成29年3月から現在まで本村の代表監査委員として村財政の効率的な運営と村政発展に貢献されています。



議員活動報告

東臼杵郡議会議員研修会 9月26日(木):日向市

東臼杵郡4町村議会議員40名が出席し研修会がおこなわれました。

宮崎県環境森林部山村・木材振興課みやざきスギ活用推進室室長の笹山寿樹様による「宮崎県における木質バイオマス発電の現状と取り組み」と再生林率日本一に向けての「グリーン成長プロジェクト」などの説明報告がありました。

また、双日株式会社アグリビジネス本部長根岸秀一氏による「ソルガム事業取り組み背景と宮崎県との連携について」の講演がありました。今後の椎葉の林業、畜産の振興に関わる有意義な研修会でした。



宮崎県町村議会議員大会及び研修会 10月10日(木):国富町

議員大会議事

- (1)経過報告
- (2)宣言・・・我々地方議員は今後とも清新で活発な行政改革を加速し、住民の負託に応えんことを誓う。
- (3)決議・・・
 - 一 議会への多様な人材参画及び議会の機能強化
 - 一 農林水産業・地域商工業等振興対策の強化
 - 一 保険・医療・福祉・少子高齢化対策等の強化
 - 一 大規模災害対策並びに消防体制の強化ほか、教育・文化の振興等、全13項目を決議した。
- (4)特別決議・・・議会・議員活動の豊富化、議員報酬の適正化に関して



議員研修会(講演)

「地方議会のあるべき姿や議会改革の動向」

- 1)議会改革による“議員のなり手不足”打開の道
- 2)“住民自治の根幹”としての議会作動
 - ＊なり手不足に関して、全町村議会・町・村・都道府県・国にとって潜む危機についてと現状、原因、対策、また女性議員を増やすための対策等の講話で、議会の組織と幅広い協働により地方自治体の未来を創ろうと締めた。

三村議会総会 10月10日(木):宮崎市

西米良村、諸塚村、椎葉村の宮崎県三村議会協議会総会が宮崎市で開催された。総会では、三村が共通して抱える国・県道の早期改良整備や森林・林業・木材振興対策に加え、近年の豪雨に備える為、「災害の激甚化に対応する、強靱な森林づくり」を追加要望した。三村は県内河川の源流域に位置し広大な森林を有しており、土砂災害の防止と土壌を保全する森林の防災機能は、災害発生と被害拡大を抑制する大事な役割を果たすため、森林事業に加え、治山対策及び河川事業との連携強化の推進と更なる支援拡充を強く求めた要望書を今年の2月に知事に提出する予定。



産業福祉常任委員会政務調査 11月14日(木):鳥取県日南町

1. 調査事項

鳥取県日南町「にちなん中国山地林業アカデミー」の林業教育の取り組み

2. 出席者

委員 常任委員会委員(河口吉弘 尾前秀久 那須重美 椎葉邦博 蔵座二九生)
行政 黒木保隆村長 松岡謹直農林振興課職員
事務局 永田書記

3. 説明者

林業アカデミー教育運営科長 小菅良豪(こすがよしたけ)氏

4. 調査の経過及び内容

事前に提示した質問事項に対し、資料による説明を受けるとともに、林業研修施設及び研修生による杉の伐倒作業の見学と意見交換

5. 主な説明内容と施設及び林業実習現場見学

- ・令和元年、国の「林業成長産業化地域創出モデル事業」を活用した全国初の町立林業アカデミー設立、林業人材の確保及び幼児期から高校生までを対象にした一貫的森林教育の取り組み。
- ・林業アカデミー林業専修科は、全国から研修生を募集、町立であるけれども日本の林業のために担い手を育てるという理念を持って運営していること。
- ・令和元年の1期生から5年度の5期生は鳥取県内26人、県外22人の研修生が卒業、県外は北海道、東京、岩手、神奈川、愛知と多彩。修了生の就職先は庁内、県内、県外とそれぞれ1/3。
- ・一貫的森林教育プログラムは、庁内の森林資源を活用しながら、自然に触れ合う体験や野外キャンプ、樹木の成長観察、木材団地見学、枝打ち体験、植林体験など、まんべんなく学べる教育プログラムを実施している。
- ・アカデミー校舎は廃園した保育園を改修、研修生の座学教室や林業に関する図書等の資料室として整備。
- ・学科は1年間の林業専修科(令和6年度から10名→12名)、林業研修科は10名(研修に応じて)。
- ・チェーンソーを使った40~50年生のスギ伐倒研修現場を見学。

6. 委員会の所見

「にちなん中国山地林業アカデミー」は、一般財団法人日南産業振興センターを指定管理者して運営を行っている。その事業運営に係る予算は多額にのぼると予想していたが、令和5年度の歳入歳出決算状況によると、歳入は町からの指定管理業務委託料45,694千円、備品購入権補助金など2,451千円、授業料2,451千円など52,102千円。歳出は、職員給料や社会保険料など24,097千円、ヘルメット、防護服などの福利厚生費が2,011千円、研修生の修学旅行費などの旅費1,474千円、車両などのリース料1,794千円、重機のリース車両費が6,000千円林業機械等技能講習費用が4,884千円、繰越金3,889千円で歳入歳出総額52,102千円である。

財源の一部は森林環境譲与税を有効に活用しており、毎年10名の専修生及び研修生を養成、林業に担い手確保は費用対効果の面からも重要な取り組みである。村外からの林業人材の確保と合わせて、自伐型林家や中核的林家後継者育成に取り組む必要があると考える。また、幼児期から中・高校生に対する森林教育に取り組み、森林林業に対する関心と魅力を醸成することも不可欠であるとする。

高性能林業機械による作業やドローンや作業防護服等、林業のカッコよさを見学や体験させるなど、林業がきつい、危険な職業であることを払拭することも一つの手段ではないかと考える。林業担い手確保の事例として、貴重な所管事務調査であった。

また付け加えて、少子・高齢化、人口減少の中で、林業従事者の確保は喫緊の課題。激甚化する台風・豪雨災害の一要因が山林や作業道であることを認識し、施業の在り方や災害に強い山づくりなど、森林・林業ビジョンに反映することを望みたい。



議会広報研修会

11月26日(火):宮崎市

6年度議会広報研修会が11月26日に宮崎県自治会館で開催された。議会広報誌のいいところ、改善したいところ、内容、配置、流れ、工夫を凝らす、読む人の心を変える写真の取り方、住民目線での内容の作り方などを研修した。又、椎葉村議会もクリニックを通して全体の構成や内容説明、評価を受けて今後における取組みや文書作成・写真構図など今後の参考となる大事な研修会となった。

議会の動き

10月	1~2日	郡議長会研修	福岡県・大分県
	3日	上球磨・西米良村・椎葉村 正副議長会	西米良村
	10日	県町村議会議長会臨時総 会及び第64回議員大会	国富町
		三村議会協議会総会	宮崎市
	11日	第6回議員定数に関する調 査特別委員会	委員会室
	17日	国道388号要望活動	日向市・宮崎市
	21~23日	町村監査功労者表彰式・町 村監査委員全国研修会	東京都
	22日	椎葉村戦没者追悼式・献花式	慰霊塔
	24日	例月監査～25日	監査室
11月	28日	第1回北部広域事務組合議 会定例会	延岡市
	5日	第3回日向東臼杵広域連合 議会定例会	日向市
	8日	第2回入郷地区衛生組合議 会定例会	美郷町
	12~15日	町村議会議長全国大会・国 會議員との意見交換会・議 長会政務調査	東京都
	13~15日	産業福祉常任委員会政務 調査	鳥取県 日南町
	21日	幹部議員研修	宮崎市
	25日	椎葉村林政審議会	役場会議室
	26日	例月監査(及び28日) 議会広報研修会	監査室 宮崎市
	27日	第11回議会運営委員会	委員会室
		第15回全員協議会	
		第7回議員定数に関する調 査特別委員会	
	28日	第5回議会広報広聴特別委 員会	宮崎市
		県町村議会議長会監事・役 員合同会議	

12月	2日	椎葉村観光協会理事会	役場会議室
	3日	平家まつり実行委員会	役場会議室
	5日	第16回全員協議会	委員会室
		椎葉村議会12月定例会	議場
	18日	村国民健康保険病院運営 協議会	役場会議室
		村社会福祉協議会理事会	すこやか館
	19日	第12回議会運営委員会	委員会室
		第17回全員協議会	委員会室
		第4回椎葉村議会臨時会	議場
		郡町村議会議長会	日向市
	23日	日向圏域国道5路線整備促 進に関する要望活動	宮崎市
	24日	例月監査～25日	監査室
	25日	日向市・東臼杵郡町村議会 議長連絡会議員研修	日向市

椎葉村議会 テレビ(11ch) 生中継

3月定例会は3月5日開会予定と
なっています。

お問い合わせは議会事務局まで (TEL
0982-67-3209)

是非傍聴にお越
しく下さい。

議会だよりは村
ホームページでも
ご覧いただけます。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。2025年が始まりました。2024年は元日早々、能登半島地震が発生、追い打ちをかけるように9月には奥能登豪雨災害が発生、未だに避難生活を余儀なくされるなど、厳しい状況に胸を痛めております。

椎葉においても令和4年台風14号災害復旧中にまた、台風10号による甚大な災害が発生しました。村を取り巻く少子・高齢化、人口減少という厳しい課題と一日も早い災害復旧に議会の総力をあげて取り組まなければならないと決意を新たにしています。村民の皆さまからお寄せいただきました議会に対する厳しい声に真摯に向き合いながら、心新たに村民のための議会活動、議会の活性化に邁進していく決意です。

2025年が村民の皆様にとって素晴らしい年になりますことをお祈りいたします。

文責 議会だより編集委員一同